

今後の城下地区
まちづくりは



緑風会
森西順次

まちづくり

問 今後の城下地区のまちづくりについて、具体的にどのような進めていくのか。

跡地の活用が進めば津山城跡の眺望が改善するだけでなく、これらの取り組みとの調和による新たなまちづくりが可能と考えている。

答 当該地区のまちづくりは、津山城跡を基点に、歴史・文化・公園エリアとしての機能を高め、かつ、中心市街地の活性化施策との調和が今後の方向性になると考えている。こうした考えを踏まえ、第5次総合計画では、津山城跡保存整備事業を引き続き実施するとともに、美術館・博物館事業や京橋門跡公園整備事業、旧庁舎改修整備事業を新規事業として加えている。

国際ホテルの移転や



津山国際ホテル

【その他の質問項目】

◆ 幼稚園再構築施設整備事業

子どもの医療費
無料化に傾注を
動物愛護管理法



市民と歩む会
村田隆男

子ども医療費

問 中学校卒業までの医療費の完全無料化はなぜできないのか。たばこ税と新年度酒税の税収の一部を目的税的に考えれば財源の確保ができるのでは。

答 子どもにかかる医療費助成は非常に重要な子育て支援策の一つ。多様な視点からニーズをとらえ、支援策の充実に取り組みたい。

くらし

問 少子高齢化や单身世帯の増加、社会的なストレスなど世の中の世相を反映してか、猫を飼う「ネコノミクス」の到来と思うが、当局の見解は。

答 ペット飼育は精神の安定や癒し、寂しさの解消になる。



問 散歩中のふんに対する処理マナーの指導は。

答 持ち帰って処理することが飼い主の責任である。啓発をしていく。

【その他の質問項目】

◆ スポーツ振興について

「住民自治協議会」
「農業振興」
について



津山誠心会議
津本辰己

地域

問 地域自ら「環境の改善・地域活性化」に取り組む「住民自治協議会」の組織化を推進すべきでは。

答 第1期事業として3年間・年25万円補助で地域の課題や地域資源の発掘や計画づくりに取り組んでいるのが9地区、第2期事業として3年間・年300万円補助のもと法人格を取得し地域資源を活用したまちづくりを実践している地区が3地区あり、平成32年度までに17地区に拡大したい。

農地

問 中山間地農業の振興により市内の経済区域の縮小に歯止めをかける施策が必要では。

答 農地の集約化を図るため、市独自の制度として、農地の借り手にも支援金を支払う中間管理事業促進補助金、集落営農の法人化を支援する集落営農法人支援貸付金を平成28年度から設ける。



【その他の質問項目】

◆ 空家対策について